

キーボード操作技能

(キータッチ2000テスト、ビジネスキーボード認定試験)

－ I T 社会に必須のタッチタイピングスキルー

今日、企業だけでなく家庭や学校でも当たり前のようにパソコンは利用されている。もはや、パソコンは私たちの暮らしになくてはならないものになりつつある。

パソコンを利用するうえで、最も基本となるのはキーボード操作であり、速くて正確なキーボード操作こそ、まず身につけるべき技能である。ワープロソフトによる文書作成も電子メールによるやりとりも、キーボードによる文字入力を中心であり、手元を見ないで入力するタッチタイピングをマスターすれば、パソコンの利活用能力は飛躍的に高まる。

キータッチ2000テストは、キーボード操作技能を証明する試験である。この試験は、合否を判定するものではなく、試験時間内（10分間）に入力できた文字数で技能を証明する。受験者全員に「技能認定証明書」を交付するが、出題したすべての文字（2,000字）を10分以内に入力できた方には、「ゴールドホルダー」の称号を付与するとともに、認定証を交付する。

なお、教材としてタイピングを基礎から習得できるトレーニング問題や、実際のネット試験問題と同様の練習問題等が多数収録されているCD-ROMを発売している。練習ソフトとして、是非ご活用いただきたい。お問い合わせは（株）キャリアック（TEL：053-484-4155）。

ビジネスキーボード認定試験は、キータッチ2000テストの中・上級資格にあたり、ビジネス実務で要求されるタッチタイピングの速さと正確さを重視した試験である。

試験科目は、「日本語」「英語」「数値」の3科目があり、出題内容は、ビジネス実務で使用されている単語や文章等を中心としているため、実務に即したキーボード操作能力を身につけられる。科目ごとに入力文字数に応じて、SからA、B、C、Dまでの5段階で技能認定する。一般にビジネス実務では、C評価以上の能力が求められる。

実務に即した技術を身につけることで、ITを活用して効率的に仕事を進められるだけでなく、専門性の高い職業ではエキスパートとして活躍することができる。

タッチタイピングの基本からキーボード入力のエキスパートまで、目標とするキーボード操作能力を修得に向け、キータッチ2000テスト、ビジネスキーボードの両試験を大いにご活用いただきたい。

また、両試験でキーボード操作を身につけ、さらに日商PC検定試験でパソコンの活用能力を磨いていただければ幸いである。